35011426 ver.01 1-01 C10-016

使いかたガイド ～DVDドライブ～

付属のCyberLink Media Suiteを使って、以下のように操作を行えます。

注意 本紙に記載の手順は、操作の一例です。各ソフトウェアの使いかたは、ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照ください。（3ページ「CyberLink Media Suiteについて」参照）

ビデオ再生　DVD-Video※、動画データを再生しよう

使用ソフトウエア

PowerDVD

※本製品は、3D映像の再生やDVDを高画質（フルハイビジョン）で再生するアップスケーリング再生機能を搭載しています。3D映像の再生やアップスケーリング再生機能を使用するには、次ページを参照してください。

1 デスクトップの（CyberLink Media Suite）をダブルクリックします。

2 [ムービープレーヤー]－[ムービーディスクの再生] をクリックします。

3 （アイコン）をクリックします。

4 再生したいディスクがあるドライブ、またはフォルダーやファイルを選択します。

5 （アイコン）をクリックして再生します。

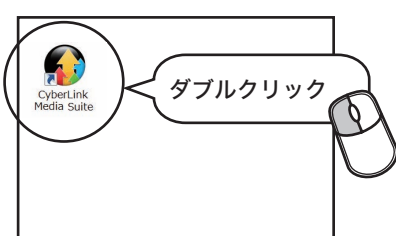
詳細はヘルプをお読みください。

動画編集とオーサリング※　動画やビデオカメラの録画データを編集して、オリジナルディスクを作ろう

※動画データをDVD-Video形式に変換することです。市販のDVDプレーヤーで再生できるディスクを作成できます。

使用ソフトウエア

PowerDirector

1 デスクトップの（CyberLink Media Suite）をダブルクリックします。

2 [動画]－[動画の編集]をクリックします。

3 素材（動画や静止画）を画面にドラッグ&ドロップし、編集します。

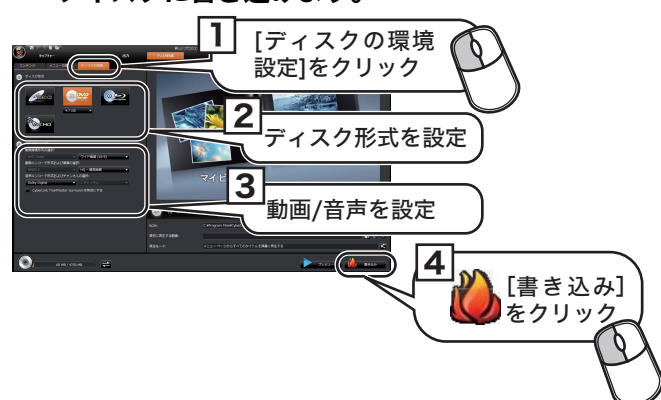
※編集する場合、手順はヘルプをお読みください。

※オーサリングする場合、手順4へお進みください。

4 ディスクを作成します。

5 コンテンツを設定します。

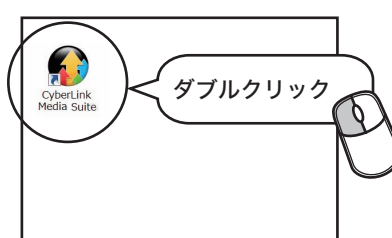
6 メニューを設定します。

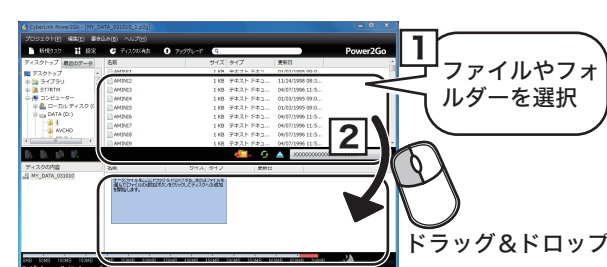
7 [書き込み] をクリックして、ディスクに書き込みます。

※PowerProducerでもオーサリングできます。手順はヘルプをお読みください。

パソコンの写真や書類をディスクに書き込もう

使用ソフトウエア

Power2Go

1 デスクトップの（CyberLink Media Suite）をダブルクリックします。

2 [データ]－[データディスクの作成] をクリックし、[DVD] または [CD] を選択します。

3 書き込むデータを画面にドラッグ&ドロップします。

4 [書き込み] をクリックして、ディスクに書き込みます。

以降は画面に従ってください。

ドラッグ & ドロップでディスク※に保存しよう

ドラッグ&ドロップでディスクに保存するには、ディスクをフォーマットする必要があります。
書き込みを行うディスクを本製品にセットし、以下の手順でフォーマットしてください。

使用ソフトウエア

InstantBurn

※使用できるメディアはDVD+RW、DVD-RW、DVD-RAM、CD-RWです。

1 デスクトップの（CyberLink Media Suite）をダブルクリックします。

2 [データ]－[ディスクのフォーマット] をクリックします。

3 ディスクを挿入したドライブを選択します。

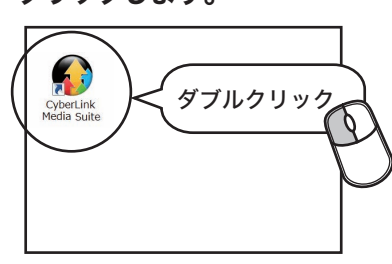
以降は画面に従ってフォーマットしてください。フォーマット完了後は、書き込むデータをドライブのアイコンにドラッグ & ドロップします。

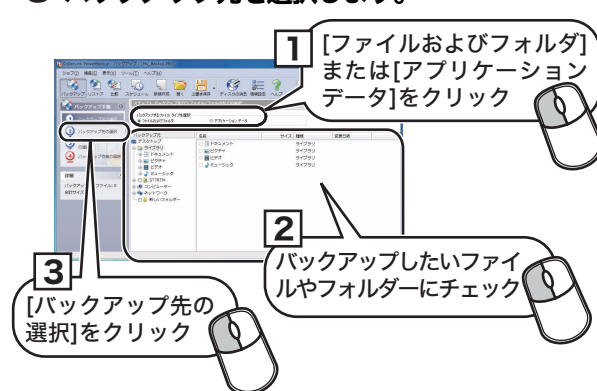
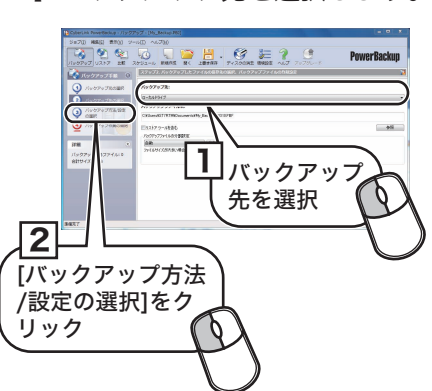
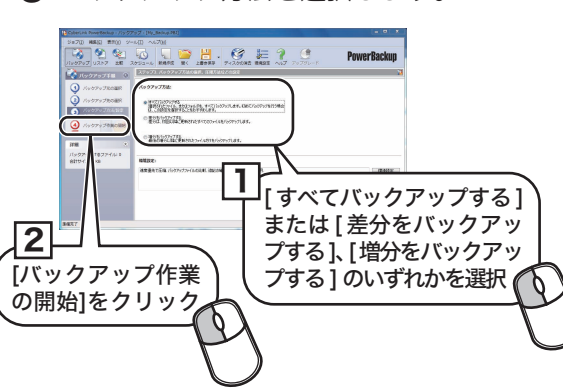
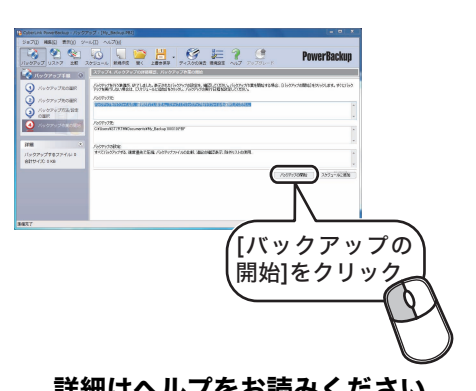
パソコンをバックアップしよう

使用ソフトウエア

PowerBackup

1 デスクトップの（CyberLink Media Suite）をダブルクリックします。

ダブルクリック

2 [コピー&バックアップ]－[PCのバックアップ] をクリックします。

3 バックアップ元を選択します。

4 バックアップ先を選択します。

5 バックアップ方法を選択します。

6 バックアップを開始します。

詳細はヘルプをお読みください。

3D 映像で視聴するには？【 3D 機能（PowerDVD）】

3D 映像を見るには、3D に対応したディスプレイや、3D メガネが必要です。

PowerDVD の TrueTheater 3D 機能で、通常の DVD や動画ファイルを 3D 映像で視聴することができます。3D 映像で視聴する場合は、以下の手順で設定してください。

❶ [スタート]－[（すべての）プログラム]－[CyberLink Media Suite]－[PowerDVD] －[PowerDVD] を選択します。

❷

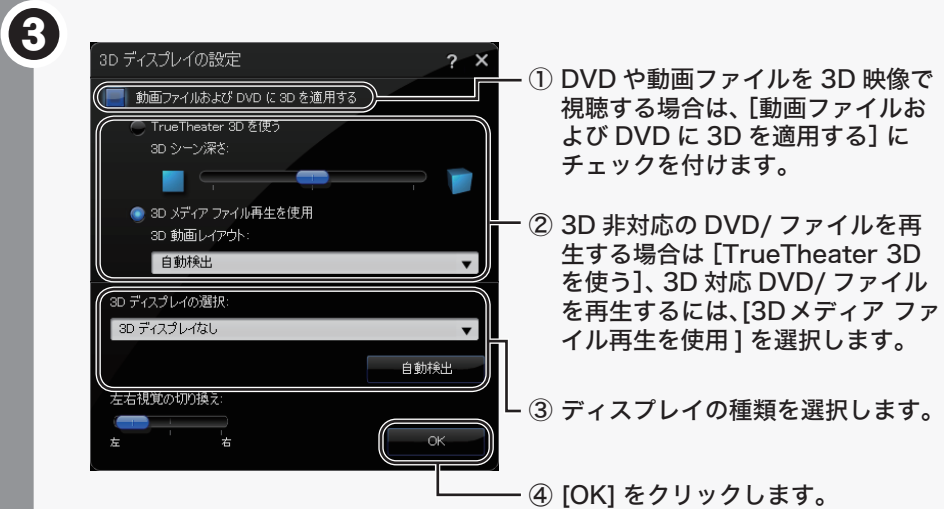
3D ボタンをクリックします。

❸

① DVD や動画ファイルを 3D 映像で視聴する場合は、[動画ファイルおよび DVD に 3D を適用する] にチェックを付けます。

② 3D 非対応の DVD/ ファイルを再生する場合は [TrueTheater 3D を使う]、3D 対応 DVD/ ファイルを再生するには、[3D メディア ファイル再生を使用] を選択します。

③ ディスプレイの種類を選択します。

④ [OK] をクリックします。

※ 各項目の詳しい説明は、以下の表をご覧ください。また、PowerDVD のヘルプにも設定項目の説明が記載されていますので、あわせてお読みください。

動画ファイルおよび DVD に 3D を適用する：

DVD や動画ファイルを 3D で視聴するときにチェックします。

<TrueTheater 3D を使う>
※通常の 2D 動画を 3D に変換するときにチェックします。

・3D シーン深さ・映像の深さを調整します。

<3D メディア ファイル再生を使用>
※3D に対応した DVD や動画ファイルを再生するときにチェックします。

・2D 平面 / 立体…DVD や 3D 動画の映像を通常の 2D モードで再生します。映像は左目向けに表示されます。
・左右 … 2 つの映像が左右に表示される場合（サイドバイサイド）、このオプションを選択してください。3D 効果を作り出します。
・上下 … 2 つの映像が上下に表示される場合（Above/Below）、このオプション選択してください。3D 効果を作り出します。
・自動検出 … 3D 映像の形式が不明な場合に選択すると、自動的に検出されます。

3D ディスプレイの選択：

お使いのディスプレイを選択します。

・立体 赤 / 青緑 … 赤 / 青緑メガネを使って映像を 3D で再生します。
・120Hz Time-sequential 3D LCD
… 120Hz の 3D ディスプレイを接続している場合に選択します。
・3D-Ready HDTV
… 3D 対応予定のハイビジョンテレビを接続している場合に選択します。
・Micro-polarizer LCD 3D
… 偏光式の 3D ディスプレイを接続している場合に選択します。
・3D ディスプレイなし
… 3D ディスプレイを接続していない場合に選択します。

メ モ
ディスプレイの種類が不明な場合は、[自動検出] をクリックしてください。自動的にディスプレイの種類を判別します。

左右視覚の切り換え：

3D 映像を見て不快に感じた場合は、[左右視覚の切り換え] のバーを動かして、映像の調節を行ってください。

以上で、設定完了です。

DVD を高画質（フルハイビジョン）で再生するには？【アップスケーリング再生機能（PowerDVD）】

この機能は、本製品の動作環境に加え、Intel Core2 Duo 1.5GHz 以上、AMD Turion 64 X2 1.8GHz 以上の CPU 推奨です。

本製品には、DVD の映像を高画質で再生するアップスケーリング機能が搭載されています。アップスケーリング機能とは、DVD に記録されている SD 画像（480P）をフルハイビジョンの HD 画像（1080P）に変換する機能です。
DVD 映像を Blu-ray 映像に迫る高画質で鑑賞することができます。初期設定では、アップスケーリング機能は有効になっていますので、詳細設定を変更する場合は以下の手順を参照してください。

注 意
DVD の再生中は、設定を変更できませんので停止させてから、設定を行なってください。

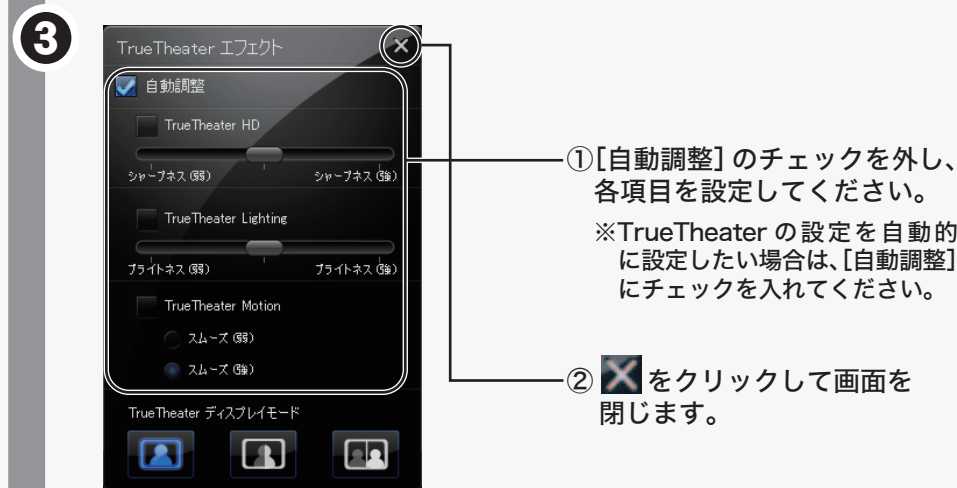
❶ [スタート]－[（すべての）プログラム]－[CyberLink Media Suite]－[PowerDVD] －[PowerDVD] を選択します。

❷

ボタンをクリックします。

❸

①[自動調整] のチェックを外し、各項目を設定してください。
※TrueTheater の設定を自動的に設定したい場合は、[自動調整] にチェックを入れてください。

② をクリックして画面を閉じます。

・アップスケーリング機能を有効にしたい：
[TrueTheater HD] にチェックします。

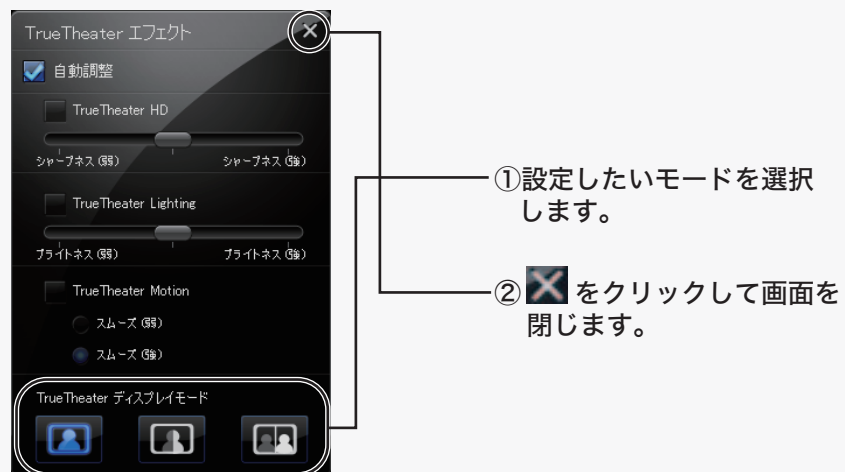
・ブライトネスを自動的に最適な環境に調節する（ブライトネスの最適調整機能）：
[TrueTheater Lighting] にチェックします。

・再生画面を滑らかにしたい（アップサンプリング機能）：
[TrueTheater Motion] にチェックします。
（フレームレートを 24fps→60fps にします）

以上で、設定完了です。

メ モ
アップスケーリング機能の効果を確認するには、[TrueTheater ディスプレイモード] を設定すると便利です。アップスケーリング機能を適用する前と後の画面を並べて表示したり、分割して表示したりすることができます。

①設定したいモードを選択します。

② をクリックして画面を閉じます。

アップスケーリング機能を適用後の映像を通常通り表示します。

ひとつの場面を中央で左右に 2 分割します。左側にアップスケーリング機能を適用前の映像を、右側に適用後の映像を表示します。

左右 2 画面に同じ場面を表示します。左側にアップスケーリング機能を適用前の映像を、右側に適用後の映像を表示します。

自動的に人物別に写真を分類する【フェイスタグ機能（MediaShow）】

ビデオや写真の編集・管理をするソフトウェアです。本製品には、大量の写真に写っている顔を判別して、自動で写真の整理ができるフェイスタグ（顔認証）機能が搭載されています。

MediaShow に写真を追加する

以下の手順で写真を追加してください。

❶ デスクトップの アイコンをダブルクリックします。

❷

①[画像] をクリックします。

②[画像の管理] をクリックします。

❸

[フォルダーの追加] をクリックします。

❹

ボタンをクリックします。

❺

写真が保存されている任意のフォルダーを選択します。
※画面は「フォトアルバム」フォルダーを追加する場合です。

❻

①ライブラリーに追加されたことを確認します。

②[OK] をクリックします。

❼ MediaShow に写真が追加されます。

以上で、設定完了です。

人物別に写真を分類する

写真に写っている顔を認証して、人物別に写真を分類します。

❶

[フェイスタグ] をクリックします。

❷

①[全画像から顔をタグ] または [指定画像から顔をタグ] のいずれかを選択します。

②[開始] をクリックします。

❸

[次へ] をクリックします。

❹ 写真が人物別のタグに分けられます。

以上で完了です。

人物別に分けられたタグに名前をつける

以下の手順でタグに名前をつけられます。

❶

[選択] をクリックし、任意の名前を入力します。

❷ 写真に名前のついたタグが追加されます。

以上で、設定完了です。

CyberLink Media Suite について

本紙では、CyberLink Media Suite に収録されたソフトウェアの概要をご案内します。詳細は、各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照ください。

起動方法

以下の手順で起動してください。

注 意

●画面は、お使いの OS によって異なります。
●初めて起動する場合など、サイバーリンク社のユーザー登録画面が表示されることがあります。そのときは、画面に従ってユーザー登録してください。

デスクトップの アイコンをダブルクリックします。

画面右下の アイコンをクリックすると、起動するソフトウェアを選択できます。

※画面下のアイコンからジャンルを選んでソフトウェアを起動することもできます。

* お気に入りのメニューは、ご自分で設定できます。詳しくは、画面右上の ? をクリックし、ヘルプを参照してください。

起動するソフトウェアを選択します。

※ソフトウェアの概要は、右にある「ソフトウェアの概要」を参照してください。

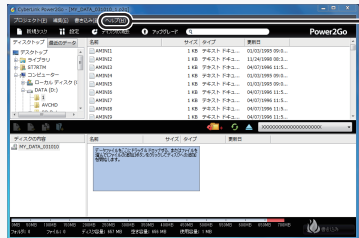
ソフトウェアが起動します。以降は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを参照して操作を行ってください。
ソフトウェアのヘルプやマニュアルの表示方法は、下の「使いかた(マニュアルやヘルプの表示方法)」を参照してください。

以上で、設定完了です。

使いかた(マニュアルやヘルプの表示方法)

画面の [?] または [ヘルプ] をクリックするか、[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー[CyberLink Media Suite]ー[(ソフトウェア名)] にあるヘルプやマニュアルを参照してください。

■ソフトウェアの画面から表示させる場合

画面の [?] または [ヘルプ] をクリックします。

[ヘルプ]ー[ヘルプ] をクリックすると、ヘルプが表示されます。

※画面は Power2Go の場合の例です。

■[スタート]メニューから表示させる場合

[スタート]ー[(すべての) プログラム]ー[CyberLink Media Suite]ー[(ソフトウェア名)] にあるヘルプやマニュアルを選択します。

ソフトウェアの概要

CyberLink Media Suite は、ディスクの再生、ディスクへの書き込み、映像編集など各用途に適したソフトウェアを収録したソフトウェアパッケージです。ここでは、収録されたソフトウェアの概要を説明します。

映像 (映画など) ディスクの再生や、DVD レコーダーなどで録画したディスクを再生するには

<PowerDVD (擬似 3D 再生 / アップスケーリング再生対応)>

映像ディスクの再生ソフトウェアです。DVD-Video、市販の DVD レコーダーで録画したディスクの再生などを再生することができます。さらに DVD-Video を擬似 3D 化して再生することもできます。

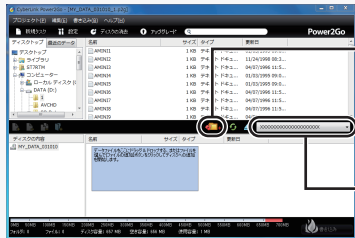
※CPRM 保護されたディスクの再生をするにはインターネット接続による認証が必要です。

※「1 回だけ録画可能 (コピーワンス)」データを録画した、または「ダビング 10」でムーブした CPRM 対応メディアの再生をデジタル外部出力 (DVI/HDMI) するには、HDCP 対応 VGA カードと HDCP 対応モニターが必要です。

※本製品に添付の PowerDVD は、AVCHD、AVCRec (H.264) 形式のディスク、データの再生には対応しておりません。

パスワード保護 (暗号化) したディスクの作成や、音楽 CD の作成、ディスクをコピーするには

<Power2Go>

データディスクや音楽 CD などを作成するソフトウェアです。作成するディスクを暗号化する機能も備えています。暗号化されたデータの読み出しにはパスワードが必要となるため、万が一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。

アイコンをクリックし、パスワードを入力後、暗号化ディスクを作成できます。

本製品を選択してお使いください。

映像の編集をするには

<PowerDirector>

動画編集をしたり、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。

映像をディスクに保存する (オリジナル映像ディスクの作成)、DVD レコーダーで録画した映像を編集するには

<PowerProducer>

高画質のハイビジョンデジタルビデオカメラで撮影した HD 映像をキャプチャーしたり、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。

パソコンのデータを自動的にバックアップするには

<PowerBackup>

データのバックアップソフトウェアです。バックアップするデータを DVD や CD に保存したいときにお使いください。

パソコンのデータをディスクに保存するには

<InstantBurn>

ハードディスクや USB メモリーのようにファイル単位でデータを書き込むことができるソフトウェアです。

※InstantBurn の対応ディスクは、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM です。

オリジナル DVD-Video の作成やビデオ、写真の管理、編集をするには

<MediaShow>

ビデオや写真の編集・管理をするソフトウェアです。メニュー、ディスクタイトル、音楽を付け加えるなど、お好みに合わせたオーサリング (DVD-Video の作成) が可能です。また、写真を Windows のスクリーンセイバーと利用したり、動画を Web で公開することもできます。その他、大量の写真に写っている顔を判別して写真整理のできる「フェイスタグ」機能も備えています。

※MediaShow がサポートするビデオ形式 (ビデオフォーマット)、画像形式 (画像フォーマット) は以下のとおりです。
ビデオ形式：DV-AVI、MPEG-1、MPEG-2、DVR-MS、WMV
画像形式　：BMP、JPEG、PNG

CyberLink Media Suite のご質問、お問い合わせ先

お問い合わせ先　サイバーリンク株式会社
電　話　0570-080-110 (一般電話)
03-5977-7530 (PHS、一部 IP 電話など)
受付時間　10:00 ～ 13:00　14:00 ～ 17:00
(土日祝日、サイバーリンク社休業日を除く)
インターネット　http://support.jp.cyberlink.com

※ ソフトウェアのユーザー登録は必ず行ってください。

ドライブ本体、TurboUSB、ドライブユーティリティのご質問、お問い合わせ先

別紙「らくらく！セットアップシート」に記載の
株式会社バッファローサポートセンターへ
お問合せください。

Power2Go Express について

Power2Go Express を起動すると、データディスクの作成、音楽ディスクの作成、ムービーディスクの作成、ディスクのコピーがデスクトップの Power2Go Express アイコンから行えるようになります。Power2Go Express は、[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [CyberLink Media Suite] ー [Power2Go] ー [Power2Go Express] の順に選択すると起動します。詳しくは、Power2Go のヘルプを参照してください。

※ をクリックするとパソコン内蔵ドライブのトレイが出てくるときは？

書き込み用ドライブにパソコン内蔵のドライブが設定されています。Power2Go Expressアイコンを右クリックして、ドライブを変更してください。上のアイコンは、Eドライブが設定されている場合の表示です。

傷や汚れのついたメディアの読み取りについて

本製品には、以下の機能があり、傷や汚れのついたメディアでも停止することなく読み取りを行うことができます。

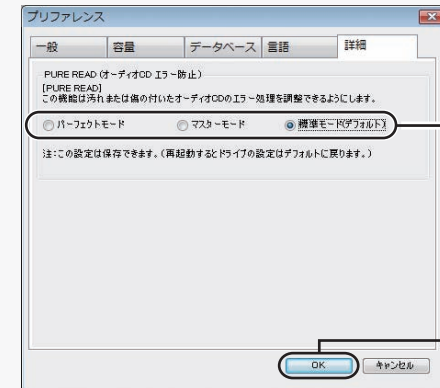
注 意

全てのメディアに対して読み取りを保証するものではありません。

PowerRead機能(PowerDVD)

DVD-Video再生時にメディアの読み取りエラーが発生した場合、再生を停止せずに次のデータを読み取る機能です。DVDプレーヤーなどで停止してしまうメディアでも、停止することなく再生を行うことができます。PowerRead機能は、PowerDVDで再生しているときに自動的にONになります。

PURE READ機能(Power2Go)

音楽CDの読み出しエラーが発生した場合、ディスク状況を自動判断、自動調整し、最適な再読み取りを行うことで、エラーデータによるデータ補間の発生を低減する機能です。よりオリジナルに近いデータの読み取りを行うことができます。PURE READ機能は、Power2Go(ライティングソフトウェア)と連携して動作し、以下の3つの設定から選択できます。設定を変更する場合は、Power2Goの画面で「プロジェクト」-「プリファレンス」を選択し、画面上にある「詳細」をクリックしてください。

①[パーフェクトモード]、[マスターモード]、[標準モード]のいずれかを選択します。

②[OK]をクリックします。

・パーフェクトモード（PURE READ機能ON）
音楽CD読み取り中に傷や汚れによるリードエラー発生した場合、自動調整を行い、再度読み取りを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、エラーを返し読み取り動作を停止します。同ディスクで再度読み取りを行う場合は標準モード、もしくはマスターモードに設定を変更して再度読み取りをしてください。

・マスターモード（PURE READ機能ON）
音楽CD読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、自動調整を行い再度読み込みを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。

・標準モード（デフォルト）（PURE READ機能OFF）
音楽CDの読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。

使いかたガイド ～ DVDドライブ ～　2010年6月8日　初版発行　発行／株式会社バッファロー